

続・夏の系譜

特集 2

2012年、初の日本一に輝いた。
強豪チームとして
全国に名を馳せる彼らは
なぜこんなに笑うのだろう。
それは彼らが
心からスポーツを楽しんでいるからだ。
勝利も敗北も失敗も
全てが学びであり、
学びは成長につながり
成長は喜びをつくる。
そんなスポーツの真の価値を教えてくれた
重信中学校男子ソフトボール部の、夏。





#1 ショート
こうたろう
池川 倅太郎さん

#5 セカンド
ゆうま
永井 悠真さん

#10 サード
そう
葛原 颯さん



#8 センター
ゆうせい
竹内 勇誠さん

#7 レフト
ゆうじろう
二宮 悠士郎さん



#77 ライト
そう
田中 颯さん

#51 ライト
ひさひと
鈴木 悠仁さん



#18 ピッチャー
ひでのり
高野 秀矩さん

#99 キャッチャー
そうし
仁野 颯詩さん

第73回愛媛県中学校総合体育大会を制した重信中学校男子ソフトボール部は、第59回四国中学校総合体育大会で準優勝。8月21日から開催された第43回全国中学校ソフトボール大会に出場した。

「守備から試合を作るチーム」。重信中学校で延べ12年間ソフトボール部を率いる橋本清監督は今期のチームを総評する。

全国大会8回出場、うち全国制覇1回、準優勝2回と輝かしい成績に導いてきた名将は「ソフトボールに限らずスポーツは楽しむもの。試合を終えた選手たちが『楽しかった』と声にする姿を、今年も見れたことが良かった」と胸を撫で下ろした。

県大会を制したチームは、8月7日、高知県で行われた四国中学総体一回戦で強豪の大正中学校（高知県）と対戦。「この試合が今期の

続・夏の系譜



で全国に行けたわけじゃない。保護者の皆さんはもちろん、地域の方々、先生、色々な人の協力で舞台に立てた。結果で返したかったが、帰って『ありがとう』を伝えてほしいと話しました。全国の舞台で多くのことを学べたと思う。経験を今後の人生で役立ててほしい」と橋本監督は言葉を送った。

取材当日、全国大会の感

想を尋ねると選手たちはすぐに「楽しかった」と満面の笑みで答えてくれた。

「スポーツは楽しむもの」。それぞれの立場でスポーツから学び、それぞれの成長を楽しむ。これこそスポーツの真の価値ではないだろうか。

重信中学校男子ソフトボール部が積み重ねてきた歴史は、また次の世代に引き継がれていく。

ベストゲーム」と橋本監督は振り返った。高野秀矩さんと仁野颯詩さん（共に3年生）のバッテリーを軸にした高い守備力で、大正打線を6回まで1失点に抑える。「ピッチャーでチーム一番の打者。彼は二刀流」とチームメイトが信頼を寄せる高野さんが本塁打を放ち、3―1で初戦を突破した。

勢いに乗るチームは続く準決勝も11―0と相手を圧倒。四国大会優勝に王手をかける。

ここまで相手を2失点以内に抑えて勝ち上がってきたチームだったが、決勝戦、土佐中学校（高知県）の機動力ある打線に捕まる。

初回の攻撃、走者一塁で内野安打と犠打、左前打で2点を先制される。その後も相手打線の勢いは止まらなかった。最終7回に意地の3点を返し喰らいつくも10―3で試合終了。全国への切符は手にしたが、四国大会準優勝で悔しさを滲ませた。

▼重信中学校 戦績			
大会		対戦校	試合結果
県大会	決勝	愛光（松山）	17－2
	一回戦	大正（高知）	3－1
四国大会	準決勝	丸亀西（香川）	11－0
	決勝	土佐（高知）	10－3
全国大会	一回戦	新島学園（群馬）	1－2



◀ノック練習中の橋本監督